



広報おおつち 4月20号

広報おおつち

April.2013 No.557

Otsuchi 4

お知らせ版

復興まちづくり大槌株式会社設立

大槌町の復興事業を担う第三セクターの「復興まちづくり大槌株式会社」（社長・碓川豊町長、出資金・3,200万円）の設立記念式典が、4月5日（金）、町役場で開催されました。町長が「官民が一体となって復興に貢献したい」とあいさつし、関係者がテープカットして門出を祝福しました。

会社は、碓川町長が社長で、澤田彰弘総合政策部長が取締役になり、公募に応じた62名から2名がスタッフとして選出されました。大槌町出身で宇都宮市に住むウェブサイト制作会社の営業職、佐藤崇子さん（32）と、母親が岩手県出身で、中国・北京の清華大学で建築を学ぶ田頭亜里さん（28）。この2名に、国土館大学を今春、卒業した川崎市出身の松岡雄也さん（23）が、いわて復興応援隊派遣メンバーとして加わりました。

佐藤さんは「震災後、故郷に戻りたいと思っていた。民間の経験を生かしながら、雇用を生み出すビジネスモデルを構築したいです」、田頭さんは「大槌町の自然、文化のルーツを探し求めながら、建築の専門知識を生かしたいです」と、それぞれ抱負を語りました。また、松岡さんは「体力には自信があります。全力で、がむしゃらにがんばります。二人の女性の上司の手になり、足になりたいです」。取締役の澤田総合政策部長は「3人は若く、明るく、能力が高いです。そのフレッシュさと行動力に期待したいです」と話しています。

今後まちづくり会社は、町の委託を受けて御社地地区に整備される中心市街地再生計画の策定、水産業の再生に向けての調査、商品開発と販路の確保、旅館や飲食業といった復興関連事業を手掛ける予定です。